

普及活動情勢報告（平成30年3月分）

高吾農業改良普及所

甘さだけじゃない、シュガートマト食味検査



2月21日のJAコスモス日高支所ハウス園芸部のトマト月例会でシュガートマトの食味検査が行われました。食味検査では出荷された果実を15戸の生産者が採点しました。
結果は集計を待っての報告となりましたが、参加した生産者からは「シュガートマトでも甘い、バランスの良い、やや酸っぱいのといろいろ」との声が聞かれました。
普及所からは今年の気象条件や厳寒期から春先にかけての栽培管理、換気方法について講習しました。今後も普及所では高品質を目指すトマト産地づくりを支援していきます。

平成29年度第2回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催しました！



普及所は2月21日、農家代表を含む15人の委員が参加する普及推進協議会を開催しました。今年度の普及指導実績や来年度の計画（案）について担当職員が説明しました。
委員の皆様は「ニラそぐりセンターの作業効率アップ」「関係機関で組織育成を支援する体制づくり」「環境制御技術を使いこなす指導」「新規就農者の経営安定への指導」と幅広く積極的な意見や提案をいただきました。
普及所では委員の皆様のご意見を参考に、来年度の普及計画書の作成や普及活動に活かしていきます。

産地提案型農業体験ツアー in JAコスモス初開催しました



2月17日から18日にかけて佐川町と日高村で産地提案型農業体験ツアーを開催しました。参加者は高知県への移住就農を考える夫婦1組で、17日は生産者や関係機関との座談会、18日は施設ニラと施設トマトを見学しました。普及所はツアーの資料作成や座談会の進行を行いました。
参加者から「子供のために住宅の確保から」「農業研修は必要か」等の相談があり、役場からの空き住宅情報や生産者からのアドバイスがありました。
普及所は、地域と連携し今後も担い手確保の活動を推進していきます。

トマト安定生産に向けた生育調査と環境測定データの活用



日高村、佐川町の施設トマトでは10戸で環境制御技術が導入されており、普及所は増収技術を確認するため、環境制御技術導入ハウスの調査を行っています。環境データと生育調査の結果と照らし合わせることで栽培管理の参考となる指標を検討しており、生育状況を取りまとめバランスシートとして生産者に提供しています。生産者からは「定期的に調べてくれると参考になる」「バランスシートは樹勢を把握するのに役に立つ」と言われています。
今後も普及所では、生育状況や環境データを蓄積し増収に向けた栽培指標を検討していきます。